



ほろのべ

北緯45度のまち

議会だより

第129号

- 発行 北海道幌延町議会
- 編集 議会報編集委員会
- 電話 01632-5-1111
- FAX 01632-5-2971

主な内容

一般質問 (第5回定例会).....	9~11
全道議員研修.....	11
議会の動き.....	11
まちづくり常任委員会質疑.....	11
経営状況報告質疑 (第5回定例会).....	12



一般質問 第5回定例会 (6月19日)

3氏が質問

地域の課題をとらえて

- 佐藤 忠志
- 藤澤 博弘
- 深賀 齋



佐藤 忠志

- ・頻発する「ヒグマ」の駆除策について
- ・国道整備について

頻発する「ヒグマ」の駆除対策について

◎近年幌延町でもヒグマの市街地への出没が相次ぐなど、地域住民の生活に支障の出るような状況になっている。これから秋のトウモロコシなどの収穫時期には更に出没の回数が多くなると予想される。

町として今後、どのような対策をしていくのか。

町長 ▶告知端末にて情報提供を行うほか、立て看板の設置、地元猟友会へ警戒見回りを依頼するなど、出没状況に合わせて必要な対策を行っていく。

◎予防策として、電牧柵などの助成の検討は。

町長 ▶補助対象の面積が広範囲になるため、どういう形を執るのか、利用者、希望者に相談をしながら進めていきたい。

国道整備について

◎宗谷管内に住む住民にとって国道40号線は、主に旭川まで、国道232号線については留萌、札幌道央圏までの重要な路線になっている。特に、232号線は海岸線が近い関係もあり、越波の影響や冬季は吹雪による交通障害の発生する難所が多く交通の円滑化などの課題が多い路線である。今後の課題として、未整備区間の整備、高速化に向けた要請活動の状況について伺う。

町長 ▶本町にとって国道232号線は、国道40号線と同様に、地域住民の安全・安心な暮らしの確保に直結する重要な路線と認識している。

この認識は、留萌地域の各自治体においても同様なので、地域の首長が一堂に